

大学ハンドボール部におけるチーム力とチーム・リーダーシップ

スポーツマネジメントゼミナール 1313052 原田 桃子

1. 研究動機・研究目的

スポーツ集団のより良い運営や育成のためにはチームリーダーであるキャプテンの影響力を吟味する必要がある(村井・猪俣, 2010)。しかし、これまでのリーダー研究は、集団外部発生的リーダー(監督・コーチなどの指導者)に関する研究が中心であり、集団内部発生的リーダー(キャプテン)の研究は十分になされていない。また、指導者が多い大学バレーボールにおける研究(渡邊, 2013;丹野, 2015)は行われているが、指導者の少ない競技に対する研究は行われていない。

以上のことから、指導者が存在するチームが少数である大学ハンドボール部に着目した本研究の目的は以下の4点である。

1. チーム・リーダーシップとチーム成果の関係について明らかにすること
2. チーム力とチーム成果の関係について明らかにすること
3. 指導者の有無がチーム・リーダーシップ、チーム力に与える影響について明らかにすること
4. 指導者の有無がチーム成績に与える影響について明らかにすること

2. 研究方法

調査対象：関東学生ハンドボールリーグ男女1部および2部リーグに所属し、2015年秋季関東学生ハンドボールリーグ戦に出場した36チームの中で、調査への協力の得られた15チームの、同リーグ戦時に所属していたメンバーである2、3、4年生の計215名であった。

調査方法：質問紙調査

調査項目：個人的属性、チーム属性(監督の有無等)、チームのキャプテンに関する項目(5因子 33項目)、チーム力に関する項目(5因子 32項目)

研究期間：2016年5月15日に配布または郵送し、同年6月末に回収

調査項目：本研究の調査項目は、個人的属性、チーム属性、チームのキャプテンに関する項目とチーム力に関する項目の4項目

3. 主な結果と考察

・チーム・リーダーシップ

男女1・2部リーグの中で女子1部リーグが最もチーム・リーダーシップを発揮していた。

(女子) 1部リーグのチームのほうでキャプテンはリーダーシップを発揮している。

(男子) キャプテンのリーダーシップに違いはない。

・チーム・リーダーシップとチーム成果との関係

(女子) チーム・リーダーシップがチーム成果に及ぼす影響は大きい。

(男子) チーム・リーダーシップがチーム成果に与える影響は小さい。

- ・チーム力

チーム・リーダーシップと同様に女子1部リーグが最もチーム力が高かった。

(女子) 2部リーグのチームに比べ、1部リーグのチームの方がチーム力は高かった。

(男子) チーム力に差はみられなかった。

- ・チーム力とチーム成果との関係

(女子) チーム力とチーム成績チームの関係性は高い。

(男子) チーム力とチーム成績チームの関係性は低い。

- ・チーム・リーダーシップ、チーム力及びチーム成果の関係

(女子) 監督の有無がチーム・リーダーシップ、チーム力に及ぼす影響は高い

(男子) 監督の有無がチーム・リーダーシップ、チーム力に及ぼす影響は低い

- ・監督の有無とチーム成績

指導者の存在するチームほどチーム成績が良い

4. 結論

(女子) 1部リーグの方が2部リーグのチームより、チーム・リーダーシップ、チーム力ともに高く、チーム成績に及ぼす影響は大きいと考えられる。また、監督の有無はチーム・リーダーシップ、チーム力に影響を与えており指導者の存在するチームの方がチーム成績が良い。

(男子) チーム・リーダーシップ、チーム力ともに、1部リーグ・2部リーグ間で違いがみられず、チーム成績に与える影響も低い。また、監督の有無がチーム・リーダーシップ、チーム力に与る影響も低い。しかし、指導者の存在するチームの方がチーム成績がよい。

女子チームにおいては、大学女子バレーボールチームを対象に行った先行研究と同様に競技レベルによる差がみられたが、男子チームにおいては差は見られなかった。また、男女ともに監督などの指導者が存在するチームの方が、指導者が存在しないチームよりもチーム成績が良い。

5. 卒業論文の執筆を終えて

本研究を進めるにあたり、指導教員の小笠原悦子教授の熱心なご指導に感謝いたします。また、アンケート調査に快くご協力してくださった関東学生ハンドボールリーグ1部2部リーグの選手の皆様に心から感謝の気持ちと御礼を申し上げます。